

# Dr.ナダレンジャー

文責 土方

1月27日に、東工大にある素敵なゲストがやってきました。

それがこちら↓↓↓



防災科学技術研究所から来られた、Dr.ナダレンジャーです。

Dr.ナダレンジャーこと納口恭明さんは、専門は雪崩など自然災害のメカニズムを研究されています。

その一方で、雪崩実験装置「ナダレンジャー」、地盤液状化ボトル「エッキー」を考案し、年間100日以上、自ら「Dr.ナダレンジャー」に変身し、幼児から小・中・高・大学生・社会人・専門家までを対象にした防災科学教育を実践されています。

今回、東工大のレクチャーシアターで特別講演をしていただきました！

Dr.ナダレンジャーは、

1. 災害を起こす自然現象もミニチュアにすればおもちゃになる
2. 楽しい実験も、そのスケールが巨大化すると災害になる

ということを念頭に、数々の実験ショーを披露してくださりました。

たとえば・・・



こちらは雪崩の実験。

模型を使って雪崩の特性を観察したり、雪崩が迫ってくる迫力を体感したりしました。



こちらは液状化の実験。

Dr.ナダレンジャーが開発した地盤液状化ボトル「エッキー」を使って、液状化のメカニズムを学びました。



こちらは共振実験。

地震が発生したときに建物が揺れますが、その特徴はその建物が持つ固有振動数に依存します。  
高さが異なるスポンジの建物模型「ゆらゆら」を使って、固有振動数の違いを観察し、  
どのような地震対策が有効か考えました。



また、最後には発泡スチロール製ブロックをこんなに高く積んで共振実験を行いました。  
観客参加型の実験で会場はとても盛り上がりました。

他にも、様々な工夫を凝らした実験を見せていただきました。

また、実験の合間に話してくださった数々のメッセージも印象的でした。たとえば、

“雪崩や地震は被害が出れば自然災害だが、被害が出なければただの自然現象。  
したがって、私たちは自然現象についてもっとよく知って、安全な付き合い方を考える必要がある。”

というお話。

自然災害への対策は、そのメカニズムの解明と共に、それを如何に、教育というソフト面含めて  
社会に還元していくのかも大きな課題だと思います。

それを自ら体現されている素晴らしい科学者・エンターテイナーだと思いました。

気になる人は、実際に Dr.ナダレンジャーのショーを見に行ってみてください。

とても面白いですよ！



**Dr.ナダレンジャーとナダレンコさん、  
東工大にお越しいただき、ありがとうございました！！**